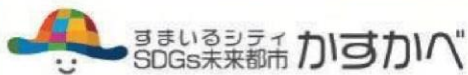


1分で分かる

エスディー・ジーズ

SDGs



問い合わせ／政策課（内線2120）

「1分で分かるSDGs」では、貧困、気候変動など地球が抱える問題の解決へ向けたSDGsの17の目標を、具体的な行動とともに紹介しています。今月号は、目標11「住み続けられるまちづくりを」を紹介します。

11 住み続けられるまちづくりを



私たちにできるアクション

- ▶地域の清掃・防災活動に参加しよう
- ▶住んでいる街の魅力を知ろう
- ▶学校や公園などの施設を大切にしよう

目標11 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強くしなやか(レジリエント)で 持続可能な都市及び人間居住を実現する

●世界の現状

世界の半数以上の人々が都市部に集中的に居住しており、2030年までには50億人に達する見込みとされています。急速な都市化は水道や下水道の不備、生活環境や公衆衛生の悪化、犯罪の増加などの影響を及ぼすことが考えられます。

日本では、空き家問題やインフラの老朽化にも深刻な影響が及んでいます。また、都市部でも少子高齢化による買い物難民の増加などが懸念されており、誰もが住みやすい、持続可能なまちづくりを実現する必要があります。

●春日部市の現状

春日部市では、高度経済成長期に建設した築30年以上の公共施設が約70%を占めており、老朽化が目立っています。

また、道路・橋梁などのインフラ施設も老朽化が進んでおり、近年の気候変動による強い台風や豪雨の頻発など、災害時に備えたインフラ施設などの再整備が必要です。

市では、防災・減災対策に取り組むとともに、高齢者や子どもたちなど誰もが安全に安心して暮らせる、駅周辺を中心としたコンパクトなまちづくりを計画しています。

第2回SDGsカフェ 問い合わせ／政策課（内線2120）

SDGsを普及するイベントを開催します。かがすかべ親善大使の平井信行氏（気象予報士・防災士）による気候変動や地球温暖化をテーマとしたオンライン講演です。

とき... 9/18(土) 14:00～15:40

募集人数... 200人（申し込み順）

申し込み... 9/15(木)までに市WEBで



▲かがすかべ親善大使
平井 信行氏

取り組み紹介

「安心できる暮らしのために」～民間との連携～

コロナ禍において、災害時に3密を避ける避難方法として、車中泊避難への関心が高まっています。市では、大規模な水害が発生した際などに、連携協定を結んでいる市内大型商業施設など(下表参照)の協力のもと、施設駐車場を車中泊避難者専用の一時滞在場所として開放する取り組みを行っています。

協力施設一覧	住所
イオンモール春日部	下柳420-1
ウエルガーデンエミナス春日部	内牧3701-1
スーパービバホーム 春日部店	下柳769-1
ララガーデン春日部	南1-1-1

※利用には条件があります。利用前には必ず市WEBをご確認ください

市では、災害に備えるため民間企業などと連携してさまざまな取り組みを行っています。令和3年7月には、イオンモール春日部、ララガーデン春日部の協力のもと、「新災害ハザードマップPRイベント」を行いました。ここでは、「春日部市災害ハザードマップ」を紹介するとともに、水害時の行動計画表「マイ・タイムライン」の作成支援を行いました。



▲新災害ハザードマップPRイベントの様子(イオンモール春日部)